

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

2023年8月3日

- (1) サマリー
- (2) 2024年3月期 第1四半期業績
- (3) セグメント別 売上高・営業利益（対 前年同期 増減・要因分析）
- (4) 通期予想に対する進捗率
- (5) セグメント別 事業概況
- (6) 通期業績予想達成、今後の成長に向けたアクション
- (7) 連結貸借対照表

2024年3月期 第1四半期業績：売上高 1,308億円、営業利益 91億円、EBITDA 166億円

- 当初計画の通り、電子デバイスや自動車関連事業といった当社グループの主要市場は下期にかけて回復を見込む中で、第1四半期は想定以上にそれら市場の回復が遅れ、多くの製品で販売数量が計画を下回った
- 一方、アセテート・トウは堅調な需要を背景に好調
- 結果、第1四半期業績としては、為替影響も含め対前年同期で増収であったものの、主要製品の販売減を受け、減益
- 今後の市場回復に伴う販売機会を確実に捉え、年間の収益改善の取り組みを加速させることで計画達成を目指す

2024年3月期 第1四半期業績

単位：億円

	2023/3 1Q実績	2024/3 1Q実績	対前年同期	
			増減	増減率
売上高	1,280	1,308	+28	+2.2%
営業利益	130	91	△ 39	△29.8%
経常利益	154	127	△ 28	△17.8%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	89	150	+61	+68.3%
為替レート USD/JPY	130	137		
EBITDA	196	166	△ 30	△15.6%

- 自動車用途の需要が回復途上にあることや電子デバイス用途の需要低迷により全体として販売数量は減少したものの、インフレータやアセテート・トウの販売数量の増加や販売価格の是正、為替の影響などにより、売上高は増加
- 販売数量の減少や定期修繕費など費用の増加により営業利益は減益
- 政策保有株式の売却により親会社株主に帰属する四半期純利益は増益

セグメント別 売上高・営業利益（対 前年同期 増減・要因分析）

単位：億円	売上高						
	2023/3 1Q実績	2024/3 1Q実績	増減	増減率	分析		
					数量差	単価差	単価差の内 為替影響
メディカル・ヘルスケア	40	34	△ 6	△15.1%	△ 9	+3	+1
スマート	96	75	△ 20	△21.1%	△ 21	+1	+1
セイフティ	178	224	+46	+25.9%	+31	+15	+12
マテリアル	361	460	+99	+27.4%	△ 15	+114	+22
エンジニアリングプラスチック	587	503	△ 84	△14.3%	△ 95	+11	+14
その他事業	18	12	△ 6	△35.8%	△ 6	-	-
合 計	1,280	1,308	+28	+2.2%	△ 115	+143	+51

単位：億円	営業利益							
	2023/3 1Q実績	2024/3 1Q実績	増減	増減率	分析			営業利益の内 為替影響
					数量影響	価格影響	その他	
メディカル・ヘルスケア	4	3	△ 0	△10.5%	+2	+2	△ 4	+1
スマート	11	△ 6	△ 18	-	△ 7	△ 5	△ 6	△ 0
セイフティ	△ 2	△ 7	△ 5	-	+11	△ 1	△ 15	+0
マテリアル	50	94	+44	+87.9%	△ 11	+84	△ 30	+12
エンジニアリングプラスチック	66	7	△ 58	△88.8%	△ 50	+7	△ 15	+1
その他事業	1	△ 0	△ 1	-	△ 1	-	-	-
合 計	130	91	△ 39	△29.8%	△ 56	+87	△ 70	+13

※ 比較のため、2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3-BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル） ・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）

セグメント別 営業利益（対 前年同期 増減・要因分析）

		営業利益	
分析	増減	増減要因	
単位：億円 メディカル・ヘルスケア	数量影響	+ 2	+ キラル充填剤の販売数量増加
	価格影響	+ 2	+ 為替影響
	その他	△ 4	△ 経費増加
スマート	数量影響	△ 7	△ 販売数量減少
	価格影響	△ 5	△ 原料価格上昇
	その他	△ 6	△ 経費増加、在庫影響
セイフティ	数量影響	+ 11	+ 販売数量増加、操業度上昇
	価格影響	△ 1	△ 原料価格上昇
	その他	△ 15	△ 生産地統廃合に伴う費用、新規ライン稼働に伴う費用
マテリアル	数量影響	△ 11	△ 酢酸誘導体や過酢酸誘導体の販売数量減少
	価格影響	+ 84	+ アセテート・トウの販売価格是正、為替影響
	その他	△ 30	△ 1,3-BG網干工場プラント稼働（前年度2Q稼働）に伴う償却費など経費増加、在庫影響
エンジニアリングプラスチック	数量影響	△ 50	△ 販売数量減少
	価格影響	+ 7	+ 販売価格是正、為替影響
	その他	△ 15	△ 経費増加、在庫影響

※ 比較のため、2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3-BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル） ・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）

通期予想（※）に対する進捗率

- 電子デバイスや自動車部品用途など需要の回復遅れの影響を受けている製品はあるものの、アセテート・トウの拡販や為替の影響などにより全体の売上高・営業利益は計画を上回った（第1四半期の計画値は非開示）
- 市場回復に遅れが見られる製品については、年間の収益改善の取り組みを加速させるとともに、挽回アクションを実施していく

全社業績	2024/3 1Q実績	上期 進捗率	通期 進捗率
		%	%
売上高	1,308	48.3%	22.9%
営業利益	91	43.4%	17.2%
経常利益	127	59.0%	23.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	150	99.9%	34.1%
為替レート USD/JPY	137		

単位：億円

セグメント別業績	売上高			営業利益		
	2024/3 1Q実績	上期進捗率 %	通期進捗率 %	2024/3 1Q実績	上期進捗率 %	通期進捗率 %
メディカル・ヘルスケア	34	51.9%	25.0%	3	157.5%	45.0%
スマート	75	43.1%	18.9%	△ 6	-	-
セイフティ	224	52.7%	24.9%	△ 7	-	-
マテリアル	460	52.0%	25.8%	94	64.8%	37.6%
エンジニアリング プラスチック	503	44.3%	20.5%	7	13.8%	4.0%
その他事業	12	46.4%	21.1%	△ 0	-	-
合計	1,308	48.3%	22.9%	91	43.4%	17.2%

単位：億円

※ 2023年5月11日に発表した業績予想です。

セグメント別 事業概況（2024年3月期 第1四半期）

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況（対前年同期）・取り組み
メディカル・ヘルスケア	ライフサイエンス	キラル関連製品の需要は海外市場を中心に堅調に推移	<p>キラル関連製品は、充填剤の販売数量が増加</p> <p>前年同期がロックダウンの影響を受けた中国拠点では受託分離案件が増加。インド拠点では合成サービスおよび分析標品在庫販売が好調。ゲノミクス市場低調の中で遺伝子解析関連事業は堅調</p> <p><今後の取り組み> インドサービス事業への注力を継続するとともに、遺伝子解析関連事業の確実な成長を目指し、マーケティング・セールスを強化 新規投与デバイスの早期事業化に引き続き取り組む</p>
	コスメヘルスケア	<p>コスメの国内市場はインバウンドの影響もあり、回復傾向が継続。中国市場の回復は想定よりも遅れている</p> <p>健康食品の国内市場はインバウンドの影響もあり、堅調に推移</p>	<p>中国市場の需要回復遅れの影響を受けて、コスメの販売数量は減少</p> <p>健康食品は、インバウンドの影響を受けて販売は好調だが、一部顧客向けの月ズレの影響により販売数量は減少</p> <p><今後の取り組み> コスメ・健康食品両事業で、新規顧客開拓など積極的な拡販を実施</p>

セグメント別 事業概況（2024年3月期 第1四半期）

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況（対前年同期）・取り組み
スマート	電子デバイス 半導体	<p>液晶パネルの在庫調整が一巡し、液晶パネル用途の需要は回復傾向。ただし本格的な需要回復は下期以降を見込む</p> <p>半導体市場は前年度下期からの需要低迷が継続。下期以降の回復を見込む</p>	<p>TACの販売数量は、対前年同期では減少したものの、海外顧客向け拡販によるシェア拡大の効果は顕在化。</p> <p>電子材料向け溶剤・フォトレジスト材料は、半導体用途、液晶パネル用途ともに販売数量が減少</p> <p><今後の取り組み> TACはシェアのさらなる拡大に取り組むとともに、製法改善（ドーピング）により、競争力強化、在庫削減を推進。機能フィルムは、新製品投入などにより前年度を上回る収益を計画</p> <p>電子材料向け溶剤増産プラントが稼働。半導体市場・液晶パネル市場の需要回復に対応するとともに、EUV用途など先端半導体領域の成長を確実に取り込み、販売数量を拡大</p>
セイフティ	自動車	<p>自動車生産台数は、中国ロックダウンの影響を大きく受けた前年同期と比較して増加</p>	<p>自動車生産台数増加に加え、新規獲得プログラムの販売開始もあり、インフレータの販売数量は増加</p> <p>北米を含めたグローバル生産拠点の生産性改善は計画通り進捗</p> <p><今後の取り組み> 今年度中に生産地統廃合を完了させるとともに、製造ラインの自動化を進め、北米の競争力強化に取り組む</p> <p>下期にインド新拠点が稼働。6エアバッグ義務化による需要の増加を確実に取り込む</p>

※TAC (Tri-acetyl cellulose) : 液晶表示フィルム向け三酢酸セルロース

セグメント別 事業概況（2024年3月期 第1四半期）

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況（対前年同期）・取り組み
マテリアル	樹脂・インク 用原料 塗料用溶剤	PTA・VAMや液晶ディスプレイ・電子材料用途の需要は、前年度下期からの低迷が継続。下期からの回復を見込む。酢酸市況も前年度から引き続き軟調に推移	<p>需要低下の影響を受けて、酢酸、酢酸誘導体の販売数量は減少。販売価格も酢酸市況低下の影響により弱含みで推移</p> <p><今後の取り組み> スポット販売など拡販の取り組みを強化 酢酸原料（一酸化炭素）プラントは12月に稼働予定</p>
	繊維 フィルター	世界のたばこ生産本数は対前年度に引き続き横這いを見込むも、加熱式たばこ用の需要増からアセテート・トウ需要は堅調に推移	<p>アセテート・トウは、既存設備のフル活用により供給能力を拡大し、加熱式たばこ向けなど需要増加に対応して販売数量を増加</p> <p>需要増加に伴う販売価格是正により、販売価格は上昇</p> <p><今後の取り組み> 引き続き顧客からの旺盛な需要に対応していく</p>
	電材・ コーティング 用原料	カプロラクトン誘導体は、ウレタン既存用途の中国向け需要が低下。エポキシ化合物は、電子基板用途の需要が前年度に引き続き低調に推移。液晶ディスプレイ需要回復も想定を下回る	<p>カプロラクトン誘導体は中国向け需要低迷により販売数量が減少 エポキシ化合物は市場の回復遅れにより販売数量が減少</p> <p><今後の取り組み> カプロラクトン誘導体は、自動車向け塗料保護フィルム（PPF）など注力する高価格・高機能用途への選択と集中を進める エポキシ化合物は、OLED封止材や新規FRP用途向けへの拡販アクションを推進</p>
	コスメ	コスメは、中国市場の回復は想定よりも遅れているものの、国内市場はインバウンドの影響もあり回復傾向が継続。	<p>国内インバウンドの需要増加により1,3-BGの販売数量は増加</p> <p><今後の取り組み> 1,3-BGの拡販に向けて、中国・欧米でのシェア拡大に取り組む</p>

セグメント別 事業概況（2024年3月期 第1四半期）

セグメント	主要市場	市場環境	当社の状況（対前年同期）・取り組み
エンジニアリング プラスチック	自動車部品	自動車生産台数は前年同期を上回った。自動車部品・素材の需要は、顧客の在庫調整が終息に向かっており、回復の兆しはあるものの、1Qは軟調に推移。2Q以降徐々に回復していく見込み	自動車用途の需要が回復途上にあることや、電子デバイス用途の需要低迷により販売数量は減少 マレーシア拠点の大型定期修繕を実施（前年度は実施なし） <今後の取り組み>
	電機・電子 ・精密機器	スマートフォンやパソコンなどの電子デバイス、家電、サーバーなど通信インフラ設備関連の生産は前年度からの低迷が継続。下期以降の回復を見込む	自動車用途以外では中国を始め需要低迷が想定よりも長期化する懸念があり、汎用グレードの販売拡大など適宜販売数量リカバリー策を実施するとともに、徹底したコストダウンを推進

通期業績予想達成、今後の成長に向けたアクション

第1四半期の市場環境が想定よりも厳しく業績回復が遅れているセグメントについては、下記のアクションを加速させ、通期業績予想の達成を目指すとともに、今後の成長につなげる

スマート	<ul style="list-style-type: none">製法改善（ドープロ過）による品質改善および低グレードパルプの使いこなしによるTACの競争力強化液晶パネル市場の回復遅れに対し、シェア拡大によるTAC販売数量の挽回
セイフティ	<ul style="list-style-type: none">日欧市場での需要回復、中国市場での在庫調整の一巡、新規プログラムの獲得による販売数量増EV車を含む需要の強い中国市場に対応した、更なる設備費低減及び設備設置リードタイムの短縮今年度中の生産地統廃合を完了、製造ラインの自動化を進め、北米の競争力強化
エンジニアリング プラスチック	<ul style="list-style-type: none">コロナ禍の在庫影響により供給できなかった商圏の奪還（POM,LCP）自動車向け需要の回復傾向に対応した柔軟な生産体制と価格設定による販売数量の確保（POM）新領域である医療用POM、バイオPOMを起点とした欧米中マルチナショナル企業向け拡販EV車におけるサーマルマネジメント向け材料の用途開拓（POM）成長市場（5G/6Gなど）や新規用途開拓に注力（LCP）使用率改善や生産状況に応じたメンテナンス計画の見直しなどによるコストダウン

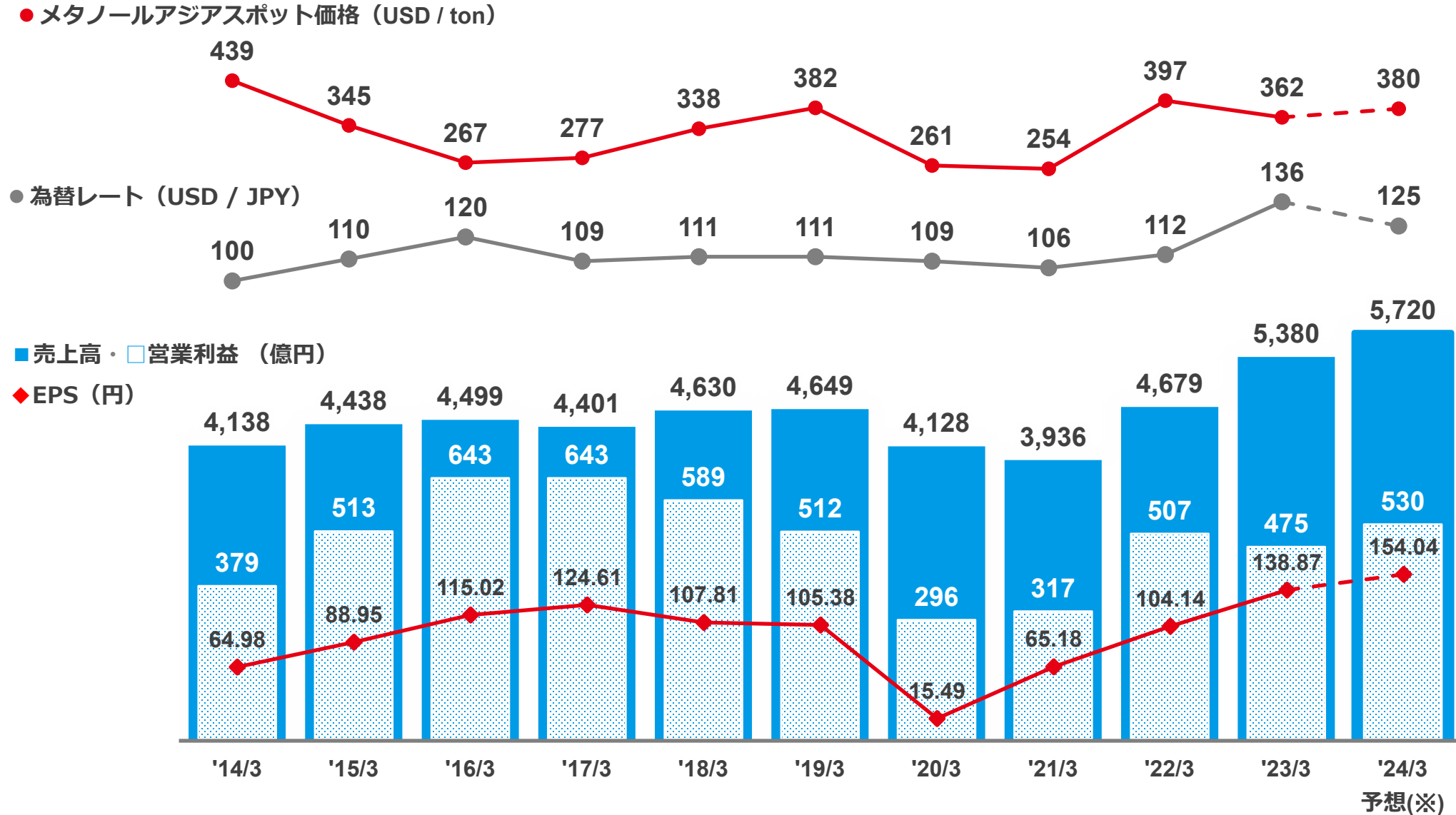
連結貸借対照表

		2023年 3月末	2023年 6月末	増減
単位：億円				
流動資産		4,066	4,088	+22
	現預金及び有価証券	938	988	+50
	受取手形及び売掛金	1,015	972	△ 44
	棚卸資産	1,772	1,798	+26
	その他	341	331	△ 10
固定資産		3,590	3,759	+169
	有形固定資産	2,561	2,683	+122
	無形固定資産	112	115	+3
	投資その他資産	917	961	+44
資産合計		7,656	7,847	+191
負債		4,552	4,491	△ 61
	有利子負債	3,220	3,113	△ 106
	その他	1,332	1,378	+46
純資産		3,104	3,356	+252
負債純資産 合計		7,656	7,847	+191

- 総資産増加額191億円のうち、224億円が為替影響
- 有形固定資産増加の主な要因は、ポリプラスチックスグループのPOM・LCP・COC製造能力増強投資
- 政策保有株式の一部を売却。今後も非事業資産の処分をはじめアセットライトの取り組みを推進する
- 手元流動性の改善に伴い、有利子負債を返済

Appendix

売上高・営業利益・EPSの推移



※ 今回は、2023年5月11日に発表した業績予想から見直しておりません。

セグメント別 売上高・営業利益（四半期推移）

単位：億円

	売上高				
	2023/3				2024/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
メディカル・ヘルスケア	40	41	44	42	34
スマート	96	66	71	64	75
セイフティ	178	220	224	219	224
マテリアル	361	391	424	432	460
エンジニアリングプラスチック	587	648	595	550	503
その他事業	18	17	26	29	12
合 計	1,280	1,383	1,383	1,335	1,308

単位：億円

	営業利益				
	2023/3				2024/3
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
メディカル・ヘルスケア	4	4	6	△ 0	3
スマート	11	△ 8	△ 6	△ 4	△ 6
セイフティ	△ 2	2	14	△ 9	△ 7
マテリアル	50	54	25	78	94
エンジニアリングプラスチック	66	79	64	44	7
その他事業	1	0	2	0	△ 0
合 計	130	130	105	109	91

※ 2023年3月期実績は、以下のセグメント変更を反映

・化粧品原料1,3BG（メディカル・ヘルスケア→マテリアル） ・新規投与デバイス研究開発機能（セイフティ→メディカル・ヘルスケア）

2024年3月期通期業績予想

単位：億円

	2023/3 ※ ¹			2024/3 ※ ²			増減
	上期実績	下期実績	年間	上期予想	下期予想	年間	
メディカル・ヘルスケア	80	86	166	65	70	135	△ 31
スマート	162	134	296	175	225	400	+104
セイフティ	397	442	840	425	475	900	+60
マテリアル	752	855	1,608	885	895	1,780	+173
エンジニアリングプラスチック	1,236	1,145	2,381	1,135	1,315	2,450	+69
その他事業	35	55	91	25	30	55	△ 36
売上高	2,662	2,718	5,380	2,710	3,010	5,720	+340
メディカル・ヘルスケア	7	6	13	2	5	7	△ 6
スマート	4	△ 10	△ 6	0	5	5	+11
セイフティ	△ 0	5	5	10	70	80	+75
マテリアル	104	103	207	145	105	250	+43
エンジニアリングプラスチック	145	109	253	53	132	185	△ 68
その他事業	1	2	3	0	3	3	△ 0
営業利益	260	215	475	210	320	530	+55
経常利益	302	218	520	215	335	550	+30
親会社株主に帰属する当期純利益	222	185	407	150	290	440	+33
(参考) 為替レート USD/JPY	134	137	136	125	125	125	

※1 2023年3月期実績は、化粧品原料1,3BGおよび新規医療デバイス研究開発機能のセグメント変更を反映しています。

※2 2024年3月期業績予想は、2023年5月11日に発表した数字から見直しておりません。

		2023/3 実績		2024/3 計画		2024/3 実績
		上期	下期	上期	下期	1Q
為替レート (USD/JPY)		134	137	125	125	137
原料	メタノール アジアスポット価格 (USD/ton)	374	349	380	380	305
	原油 ドバイ (USD/bbl)	102	83	90	90	78
	国産ナフサ (円/kl)	83,750	69,500	68,000	68,000	67,000(※)

※ 2023年8月3日時点の予想値

予測に関する注意事項

- 本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。
- ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

本資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。

いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。